

7月の帰宅時刻は  
**6:00**です!!

7月の月目標は、「**ていねいな言葉を使おう**」です。

# みその子



第4号  
苦小牧市立美園小学校  
生徒指導部だより  
令和3年6月30日

## いじめ悩みアンケートの結果から

1学期に学校で実施した1回目の「いじめ悩みアンケート」の結果の3点を取り上げて「いじめ」について考えてみたいと思います。

1. 4月から嫌な思いをしたことがある 58名
2. 今も嫌な思いをしている（1年除く）32名
3. 誰にも相談しない（1年除く）24名

いじめについて、文部科学省では次のように定義しています。

### 文部科学省によるいじめの定義

「いじめ」とは、該当児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判定は、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。（一部抜粋）



つまり、やっている子がいくら「ふざけ」のつもりでも、行為を受けた子が「精神的にショックを受けた。」と言え、それは「いじめ」ということになるのです。「1. 嫌な思いをしたことがある」の内容は、「ひやかし・からかい・悪口」がほとんどであり、加害者への指導で出てくる言葉の多くは「ふざけて言った、やった」というものでした。「ふざけ」も「いじめ」であるという認識を子どもたちがもって、相手の気持ちを考えて行動できるように指導を続けています。

「2. 今も嫌な思いをしている」については、担任だけでなく生徒指導部を中心に学校全体で「いじめは絶対に許さない」という姿勢で対策や指導に当たっていきます。

また、「3. 誰にも相談しない」の件数については、とても重要だと考えています。嫌なことが起こったとしても、誰かに相談できるのと、誰にも相談しない・できないのでは大きく意味が異なるからです。学年が上がるにつれて件数が多くなっています。

最近、ネット等による（LINE、Twitterなど）コミュニケーションも日常化しており、直接会話での悪口や集団無視が、ネット上でも行われるケースをニュース等で目や耳にします。子どもたちの様子が見えにくいということは、大人もなかなか「いじめ」を発見しにくいということです。

いじめ悩みアンケートは、「いじめは、どの学級の誰にでも起こりうるもの」という認識の上、いじめの早期発見と早期解決につなげることをねらいとして実施しています。「いじめ」が原因で辛い思いをする子をつくらないために、私たち大人がすべきこともたくさんあります。以下のことを常に心掛け、私たちが、みんなで子どもたちをしっかりと見守り、全ての子どもたちが安全・安心に過ごせる環境をつくっていきましょう。

- 思いやりのある子どもを育てる（「人の気持ちを想像する」・「相手の立場になって考える」）
- 子どもたちが何でも相談できる人間関係とその時間をつくる
- 学校・家庭・地域の協働を大切にする

## 自転車のきまりの変更について

7月から自転車のきまりについていくつか変更があるので、お知らせします。

- ①グラウンドに自転車で来たときの駐輪場が、今まではバックネット裏でしたが、7月からは下記の場所に自転車を停めてください。
  - ・西側→6年教材園の横（チェーンの横）
  - ・東側→非常階段横の柵に沿って木の間 ※白い線が引いてあります。
- ②自転車では校区内のみ乗れる約束ですが、住吉児童館と住吉ライブラリーセンターについて、高学年（4～6年生）は許可することにします。

児童館ではいろいろなイベントが開催されています。また、ライブラリーセンターには体育館や図書館があります。施設のルールをしっかりと守って利用してください。

※学習施設の許可であり、住吉公園は許可しません。
- ③1年生については、町内のみ（家の近く）で自転車の使用をしてください。町内を出るときは、保護者同伴でお願いします。

## うちわの使用について

今年も、マスク使用時における熱中症対策として、7月と8月のうちわの使用を認めます。使用に関して、下記のルールをしっかりと守るように指導します。ご家庭でも確認をし、持たす場合には、記名をお願いいたします。

- ①使用時間・・・使用可能時間は休み時間と5分休みとする。ただし、5分休みは授業の準備やトイレ水飲みが優先。
- ②使用場所・・・教室のみ。廊下など教室外に出た使用は禁止。
- ③使用方法
  - ・うちわで人をたたかない。
  - ・遊びに使わない。
  - ・投げない。
  - ・絵柄や模様は特に規制はしない。
  - ・必ず記名する
  - ・紛失や破損も考えられるので貴重な物は持ってこない。
  - ・大きさは通常サイズ。

## 学校への忘れ物

放課後、たくさんのお子たちが、学校に忘れ物を取りに来ています。学校では、忘れ物なく持ち帰りをするように声掛けを続けているところです。

家のカギなど、緊急性が高い物については学校に取りに来てかまいませんが、給食セットなど別の物を持たせて代用できる場合については、次の日に持ち帰るようにご家庭でも声掛けをお願いします。